

令和5年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

つじ なるひさ  
辻 成尚 （59歳） 三重県立津高等学校長

- ・ 公立高等学校教諭として英語科教育の推進に尽力した。
- ・ 三重県教育委員会事務局充指導主事、主幹、班長、課長補佐兼班長、課長を務め、本県の教育活動の充実のみならず、本県教育行政の発展に尽力した。
- ・ 公立高等学校長として、石薬師高等学校では、強い責任感を持ち、地域から信頼され、社会に貢献する生徒を育てるための学校経営に尽力した。亀山高等学校では、普通科・システムメディア科・総合生活科の3学科が設置されている同校において、インターンシップや企業学校見学会で具体的な将来像を描き、積極的に挑戦する気概を育む等、実践的な教育活動を推進した。津高等学校では、文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクール事業を全校体制で推進し、生徒一人ひとりに「探究心」を醸成するとともに、「創造性」「協働性」「課題解決能力」を育み、国際社会で活躍できる人材の育成に努めた。また、教職員の資質能力の向上に取り組むとともに、教職員同士が教え合い、協力し合うことによって、さまざまな課題に「チーム」として取り組む組織力ある学校づくりに努めた。
- ・ 三重県立学校長会長、副会長、会計、監事として同会の運営に尽力した。

令和5年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

やました たかひさ  
山下 隆久 （59歳） 松阪市立嬉野中学校長

- ・ 公立中学校教諭として、国語の指導方法の研究と実践及び読書教育に取り組むとともに、それぞれの赴任校で職員の中心的な存在となり校内研修の推進に努めた。また、生徒指導や部活動指導において、生徒や保護者との関係づくりを大切にし、情熱をもって実践を重ねた。
- ・ 公立中学校教頭として、豊富な経験と確かな実践力で校長をサポートするとともに教職員の指導力の向上に力を発揮した。また、地域と学校、地域同士の連携が教育活動推進には不可欠であるという信念のもと、PTA活動を積極的に活用し、地域の教育力向上を目指すとともに、校区の小学校と協働し、児童生徒の9年間の学びの連携も重視した指導体制の構築に尽力した。
- ・ 公立中学校長として、地域と連携したキャリア教育や、義務教育9年間における人権教育を進めるために、保護者、地域、近隣小中学校との連携を深め、健全な児童生徒の育成と学力向上をめざし、広い視野をもって取組を進めている。
- ・ 三重県小中学校長会長として、これまでの豊富な経験と幅広い見識を生かして、三重県内の小中学校における学力向上、働き方改革など、様々な課題の解決に取り組んでいる。

令和5年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

こばやし ひろゆき  
小林 宏行 （59歳） 津市立南が丘小学校長

- ・ 公立小学校教諭として採用され、オープンスペースを持つ校舎の特性を生かし、個別化・個性化教育の教育実践に取り組んだ。また、地域住民を巻き込んだ国際理解教育に取り組み、日本語指導を充実するための「ふれあいなかま教室」の設置に尽力した。
- ・ 三重県教育委員会中勢教育事務所主事兼社会教育主事に赴任した同人は、三重県中勢地域における総合型地域スポーツクラブの設立とスポーツを通して青少年の健全な育成に貢献した。
- ・ 三重県教育委員会子ども安全対策監に昇任した同人は、全国的には数少ない県条例として「三重県いじめ防止条例」の策定に尽力した。また、県内の企業、医療機関、スポーツクラブ等と連携をし、「いじめ防止サポーター」を組織化するとともに、県立学校や市町教育委員会等に対する「いじめの防止」に関する指導に尽力した。
- ・ 三重県津市立南が丘小学校長に就任した同人は、教育に対する高い識見と永年にわたる経験をもって教職員の資質向上等に取り組み、強いリーダーシップを発揮して学校運営の確立に努めている。
- ・ 三重県小中学校長会小学校部会長として、新たな学校教育の創造と具現をめざした学校運営を推進している。

令和5年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

いけだ さとる  
池田 寛 （64歳） 伊勢学園高等学校長

- ・教諭として研鑽を重ね、保健体育科教育の推進に尽力するとともに、生徒指導、部活動など誠意を持って取り組んだ。30年以上顧問を務める陸上競技部では国体少年女子やり投げで全国4位入賞など各大会で多数の入賞者を輩出。その指導能力は高く評価されている。
- ・2009年の共学化に際し、プロジェクトチームのリーダーとして伝統を大切にしながらも学校改革に邁進し、教育の充実と共学の定着を成功させた。校長就任後はさらにリーダーシップを発揮し、校長自ら先頭に立ち、特色ある学校づくりを進めている。校長の熱い想いは学校全体の教育効果も上げている。
- ・人権教育の重要性を深く認識。同校の人権教育推進校としての位置づけを確立した。
- ・三重県高等学校保健体育研究協議会南勢支部長、同事務局長を歴任し、保健体育科教員の能力向上に尽力した。現在は三重県陸上競技協会の評議員として後輩の育成に尽力するなど、県全体の保健体育科の学習指導の向上に貢献している。
- ・三重県私学協会等においても役員を務め、40年以上にわたる教員としての知識、経験を活かし、県内私立学校の新任教員の教育、保健体育科教員の指導育成を行うなど、私学の振興発展に寄与している。